

## 第 7 期 西町商店街協同組合活性化計画

【計画期間：令和8年度 から 令和11年度 まで】

計画策定団体	西町商店街協同組合	団体設立年度	平成4年度
--------	-----------	--------	-------

## 1 商店街等の現状と課題

地域概況	西町商店街は、名鉄豊田市駅、愛環新豊田駅に隣接し、大型商業施設、公共施設、銀行等の都市機能が集中する地域に位置する商店街である。 範囲も非常に広範囲で、夜間営業の飲食店が非常に多い商店街となっており、地元消費者のみならず広域から来街がある商店街である。		
区域	西町、神田町1丁目、元城町1丁目、桜町1丁目		
区域内の店舗数	150店舗（令和7年4月時点）	区域内の空き店舗数	0店舗（令和7年4月時点）
上記のうち 組合加入店舗数	121店舗（令和7年4月時点）		
組合加入店舗の構成	小売業（7店5.8%）、飲食サービス業（106店87.6%）、宿泊業（0店0.0%） 生活関連サービス業・娯楽業（1店0.8%）、その他（7店5.8%）		
特徴・強み	①大型商業施設、市役所、銀行、鉄道、バスの拠点等の都市機能が集中する区域に位置している。 ②夜間営業の飲食店舗が多く、夜間の利用者が多い。 ③街路灯、防犯カメラ、AEDの設置により「安全で安心な商店街、地域」を構築。 ④自治区との共同イベントを開催するなど、自治区との密着性。		
来街者 （主なものに○）	○ 高齢者	主婦	ファミリー
	○ 若者	観光客	その他（ ）
来街者交通手段 （主なものに○）	○ 徒歩	自転車	バス
	○ 自家用車	鉄道	その他（ ）
商店街等の 問題・課題	①新規加入の店舗が増加し、老舗が減少傾向。 ②飲食チェーン店が多く、商店街活動に巻き込んでいくかが、今後の大きな課題。 ③夜の街のイメージが強いため、昼間利用のお客様への利便性。 ④地域が広範囲のため、街路灯、防犯カメラ等の共同施設の維持管理の負担。		
地域住民のニーズ	商店街利用可能な商品券の発行。		

## 2 商店街等の目指す将来像及び目標

目指す将来像	「快適に安全で安心してお買い物、飲食ができる商店街」をコンセプトにし ①地域と一体になった商店街づくり ②商店街の魅力を推進 ③安心して暮らせ、来街者に便利な商店街づくり		
（4年後に 基本目標 目指す状態）	目標	①安心・安全な商店街区域の維持 ②商店街の魅力をPR ③社会情勢に合わせた商店街活性化事業	
	目標達成 指標	①AED及び防犯カメラの管理（更新及び保守点検） ②ホームページのアクセス回数 ③継続的なイベントの実施	
	目標値	①継続的な維持管理の実施 ②5,000回/年 ③活性化計画に沿ったイベントの実施	

### 3 事業計画

事業名		景観維持事業（植栽の維持管理）			
		事業区分	継続	取組区分	にぎわい創出
実施予定時期		令和8年4月 から 令和12年3月 まで			
内容		商店街地域内の花壇36か所の植栽の植替えや半年ごとの維持管理を行う。			
必要性・目的		商店街の景観維持により、商店街利用者、地域住民等へ癒し、憩いの場を提供し、商店街のイメージアップを図る。			
ターゲット・コンセプト		商店街利用者、地域住民			
事業費・採算性の説明		植栽購入費 110,000円（消耗品費） 年2回の剪定 440,000円（委託費）			
新規性・改善点		以前は関係者で花の植替えを実施していたが、適正な管理を行っているにも関わらず枯れることもあり、景観を損なうことがあったため、枯れにくい低木に植替える。			
事業によって得られる効果（アウトカム）		年間を通して美しい景観を保ち、商店街のイメージアップに貢献する。			
目標	評価指標	植替えまでの維持管理			
	目標値	70%以上の植栽の維持			
	測定方法	目視			
推進体制		業者委託及び組合員による管理			
関連計画や事業（地域の動き等）		自治区との共働			
実施スケジュール	年次	令和8年度【1年目】	令和9年度【2年目】	令和10年度【3年目】	令和11年度【4年目】
	取組	5月 植替え 11月 剪定	5月 植替え（適宜） 11月 剪定	5月 植替え（適宜） 11月 剪定	5月 植替え（適宜） 11月 剪定
	事業予算	550,000円	550,000円	550,000円	550,000円
	市補助金の申請	有	有	有	有
	関連する地域事業				
	目標達成状況	70%以上の植栽の維持	70%以上の植栽の維持	70%以上の植栽の維持	70%以上の植栽の維持

### 3 事業計画

事業名		自治区交流イベント事業			
		事業区分	継続	取組区分	地域コミュニティ活性化
実施予定時期		令和8年4月 から 令和12年3月 まで			
内容		自治区との共同イベントの開催			
必要性・目的		自治区開催の「西町夏祭り」「会館まつり」を共同で開催し、自治区民との交流、商店街のアピールをし、商店街での消費を促す。			
ターゲット・コンセプト		地域住民			
事業費・採算性の説明		西町夏祭り 400,000円（委託費） 会館まつり 200,000円（委託費）			
新規性・改善点		自治区と共同開催を実施している継続事業で、例年イベント内容が同様となっており、イベント内容や取り組み方を検討し、参加者の増加につなげる。			
事業によって得られる効果（アウトカム）		商店街の存在感をアピールし、商店街での消費を促し、活性化につなげる。			
目標	評価指標	各イベントの参加者数			
	目標値	西町夏祭り400名、会館まつり200名			
	測定方法	カウンター等を用いて計測			
推進体制		夏祭り実行委員会、会館まつり実行委員会（商店街理事及び自治区関係者）			
関連計画や事業（地域の動き等）		西町夏祭り、会館まつり			
実施スケジュール	年次	令和8年度【1年目】	令和9年度【2年目】	令和10年度【3年目】	令和11年度【4年目】
	取組	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり
	事業予算	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円
	市補助金の申請	有	有	有	有
	関連する地域事業	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり	西町夏祭り 会館まつり
	目標達成状況	各イベントの参加者数 西町夏祭り400名 会館まつり200名	各イベントの参加者数 西町夏祭り400名 会館まつり200名	各イベントの参加者数 西町夏祭り400名 会館まつり200名	各イベントの参加者数 西町夏祭り400名 会館まつり200名

### 3 事業計画

事業名		スタンプラリー事業			
		事業区分	新規	取組区分	にぎわい創出
実施予定時期		令和8年4月 から 令和12年3月 まで			
内容		商店街の各店舗に設置されたチェックポイントでミニゲームを行い、スタンプを押印する。スタンプをすべて集めた参加者は本部で景品と交換する。			
必要性・目的		商店街に来街したことのない市民の発掘を重点的に実施するほか、地域住民、商店街利用者との交流を促進し、商店街の活性化と集客力の向上を図る。			
ターゲット・コンセプト		商店街利用者、地域住民、特に子どもとその保護者			
事業費・採算性の説明		スタンプ台 100,000円（消耗品費） スタンプ用紙 100,000円（印刷製本費） スタンプ台設置 800,000円（委託費）			
新規性・改善点		スタンプラリーを契機として、普段入りづらい店舗にも入ってもらうことで新規顧客の獲得や商店街利用者や住民の地域愛着の醸成を図る。			
事業によって得られる効果（アウトカム）		子どもから大人まで楽しめるイベントの提供により、商店街のにぎわいを創出する。			
目標	評価指標	アンケートによる満足度等を測定			
	目標値	イベントに満足と答えた人の割合が80%以上			
	測定方法	開催後の参加者アンケート			
推進体制		商店街組合員各店舗の参加、理事を中心とした企画、立案、運営			
関連計画や事業（地域の動き等）					
実施スケジュール	年次	令和8年度【1年目】	令和9年度【2年目】	令和10年度【3年目】	令和11年度【4年目】
	取組	スタンプラリー事業	スタンプラリー事業	スタンプラリー事業	スタンプラリー事業
	事業予算	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
	市補助金の申請	有	有	有	有
	関連する地域事業				
	目標達成状況	イベントに満足と答えた人の割合が80%以上	イベントに満足と答えた人の割合が80%以上	イベントに満足と答えた人の割合が80%以上	イベントに満足と答えた人の割合が80%以上

### 3 事業計画

事業名		防犯カメラ保守点検及びレコーダー交換事業			
		事業区分	継続	取組区分	地域コミュニティ活性化
実施予定時期		令和8年4月 から 令和12年3月 まで			
内容		商店街地域内設置の防犯カメラ保守点検 商店街地域内設置の防犯カメラ画像記録装置（レコーダー）交換			
必要性・目的		定期的にカメラ、レコーダー等の不具合が発生していないか点検を行ったうえで必要に応じて交換を行う。また、警察への捜査協力要請等への対応を実施し、安心安全なまちづくりに貢献する。			
ターゲット・コンセプト		商店街利用者、地域住民及び来街者			
事業費・採算性の説明		保守点検費 200,000円 ※防犯カメラ24台、レコーダー9台 レコーダー交換 1,000,000円 ※レコーダー9台			
新規性・改善点		これまで、定期的な保守点検を実施していなかったために、カメラ、レコーダー等の不具合の発見ができなかったため、保守点検を取り入れる。			
事業によって得られる効果（アウトカム）		商店街利用者、地域住民及び来街者への安全の確保			
目標	評価指標	カメラ、レコーダー等の不具合件数の削減			
	目標値	捜査協力要請を受けた際の不具合件数 0件			
	測定方法	定期的な保守点検による確認			
推進体制		委託業者（保守点検→組合員・レコーダー交換→設置業者）			
関連計画や事業（地域の動き等）					
実施スケジュール	年次	令和8年度【1年目】	令和9年度【2年目】	令和10年度【3年目】	令和11年度【4年目】
	取組	11月 保守点検	11月 保守点検	11月 保守点検 レコーダー交換	11月 保守点検
	事業予算	200,000円	200,000円	1,200,000円	200,000円
	市補助金の申請	有	有	有	有
	関連する地域事業				
	目標達成状況	捜査協力要請を受けた際の不具合件数 0件	捜査協力要請を受けた際の不具合件数 0件	捜査協力要請を受けた際の不具合件数 0件	捜査協力要請を受けた際の不具合件数 0件

### 3 事業計画

事業名		AED（消耗品交換）事業			
		事業区分	継続	取組区分	地域コミュニティ活性化
実施予定時期		令和8年4月 から 令和12年3月 まで			
内容		商店街地域内設置のAED（消耗品）の交換 ※バッテリー、電極パットの交換が購入後3年 <参考> 西町商店街が設置するAEDは全3台 令和3年度2台 本体更新済み 令和4年度1台 本体更新済み			
必要性・目的		AEDの設置により、商店街利用者、地域住民及び来街者への安全が確保できる。			
ターゲット・コンセプト		商店街利用者、地域住民及び来街者			
事業費・採算性の説明		バッテリー、電極パット交換 125,000円×3台分			
新規性・改善点					
事業によって得られる効果（アウトカム）		商店街利用者、地域住民及び来街者への安全確保			
目標	評価指標	耐用年数に合わせた消耗品の交換により、必要な時に使用できるように整備			
	目標値	AEDを使用した際の不具合件数 0件			
	測定方法				
推進体制		業者委託			
関連計画や事業（地域の動き等）					
実施スケジュール	年次	令和8年度【1年目】	令和9年度【2年目】	令和10年度【3年目】	令和11年度【4年目】
	取組	2月 消耗品交換 ※令和3年度設置分		12月 消耗品交換 ※令和4年度設置分	2月 消耗品交換 ※令和3年度設置分
	事業予算	250,000円		125,000円	250,000円
	市補助金の申請	有	無	有	有
	関連する地域事業				
	目標達成状況	バッテリー、 電極パット交換2台		バッテリー、 電極パット交換1台	バッテリー、 電極パット交換2台

## 4 必要な業種

### (1) 区域内に必要な業種とその理由

優先度	業種 (日本標準産業分類 中・小分類の名称で記入)	理由
1	762 専門料理店	夜間のにぎわい創出のため
2	522 食料・飲料卸売業	酒屋がないため
3		

### (2) 上記業種が誘致できる空き店舗（令和7年4月時点）

所在地	所在階 床面積	従前店舗の業種	貸出の条件等

## 5 商店街等の区域図

